

国内初! 町丁目ごとの世帯数データを毎月更新して提供 「リアルタイム世帯数データ」とは――

マップマーケティング株式会社

私たちマップマーケティング社は国内で初めてとなる、毎月更新する町丁目別世帯数データ「リアルタイム世帯数データ」の販売を開始しました。湾岸エリアなど大型マンションが次々に建設される地域への出店計画や、「国勢調査では古い…」と苦言を呈されてしまうような、データ鮮度にシビアな案件で活躍します。

町丁目ごとの世帯数データを毎月更新 新築マンションの竣工戸数を加味

「リアルタイム世帯数データ」は毎月更新する“最新”世帯数データです。エリアマーケティングにおいて、国勢調査よりも直近の世帯数を知りたい場合は、現状では、年に一度更新している住民基本台帳データを使用するケースが多いのですが、「リアルタイム世帯数データ」は各市区町村が毎月公表する住民基本台帳のデータに、プラス、それ以降に建てられた分譲マンションやUR等の竣工戸数を加味しています。そのため、住民基本台帳よりもさらに新しい、より実際に近い世帯数の推計値となっているのです。毎月、住民基本台帳の発表月から6ヶ月先までの推計値を提供。その際、マンションやURの入居率を加味することも可能です。提供エリアについては、人口流入の多い市区町村を対象としているため、都心部から30km圏を目安に設定しましたが、ユーザーの利用状況を踏まえ、収録地域を広げることも視野に入れています。

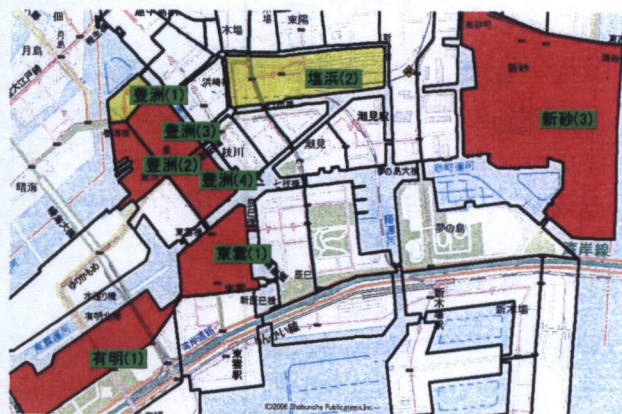


リアルタイム世帯数データ 推計イメージ図

マンション建設ラッシュの続く 「豊洲エリア」のリアルタイム世帯数は?

江東区の豊洲エリアを見てみましょう。豊洲エリアは大型マンションの建設ラッシュに伴い、2005年の国勢調査時点から2010年10月現在に至るまで、各町丁目において数千という単位で世帯数が増加しています。これは、新規出店においても、ポスティングなど販売促進においても影響の大きい数字で、マーケティング現場では看過できない事実で

す。それでは、豊洲エリアにおいて、2005年国勢調査の世帯数とリアルタイム世帯数データの違い(比較)を地図でご覧ください(国勢調査と住民基本台帳では調査方法が異なるので、完全に正確な比較ではないことは承知)。リアルタイム世帯数データを使用することで、国勢調査では分からない“現在”および“未来”の世帯数でのマーケティングが可能になります。



豊洲エリアにおける2005年国勢調査以降の世帯数の増加(リアルタイム世帯数データ使用) 500世帯以上増加=黄色、1,000世帯以上増加=赤色

新しく建設された(または建設予定の) マンションやURの名称データも提供可能

リアルタイム世帯数データの推計値を作成する過程で使用した、マンションやURの具体的な物件名を提供することが可能です。新しくできた高級タワーマンションに出前のチラシを入れたい、ファミリー向け分譲マンションの主婦相手にクリーニング屋が集客をしたいなど、お店が繁盛していく上で、どこにどんなマンションが建った(建つ予定)かは重要な情報です。こちらら併せてご相談ください。

リアルタイム世帯数データ概要

【集計単位】	町丁目
【収録項目】	人口(男女)、世帯数、マンション竣工数
【収録範囲】	都市部(北はさいたま市、東は習志野市、西は相模原市まで) ※都心部から30km圏が目安。
【価格】	月額20,000円(毎月20日更新)

●プロフィール 新田 正則(しんでん まさのり)
1966年 長野県出身
東京理科大学卒業後、株式会社NEC総研入社
マーケティングコンサルティンググループ研究員として勤務
1997年 マップマーケティング株式会社設立 現在に至る

